

決算短信補足資料

(2013年3月期決算)

2013年4月30日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期 通期実績 B	対前年		2014年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益	12,876	12,989	+112	100.9	13,105	+115	100.9
営業利益	1,097	1,294	+196	117.9	1,250	44	96.5
経常利益	824	1,046	+222	126.9	1,015	31	97.0
当期純利益	294	601	+307	204.1	575	26	95.5
【単体】							
営業収益	8,621	8,685	+63	100.7	8,665	20	99.8
運輸収入	7,587	7,691	+103	101.4	7,750	+58	100.8
営業費用	7,728	7,661	67	99.1	7,725	+63	100.8
人件費	2,379	2,333	45	98.1	2,350	+16	100.7
物件費	3,395	3,427	+32	100.9	3,515	+87	102.5
動力費	362	371	+9	102.5	440	+68	118.5
修繕費	1,333	1,365	+31	102.4	1,405	+39	102.9
業務費	1,699	1,691	8	99.5	1,670	21	98.8
減価償却費	1,407	1,347	60	95.7	1,310	37	97.2
営業利益	892	1,023	+130	114.6	940	83	91.9
経常利益	628	775	+146	123.4	710	65	91.5
当期純利益	221	419	+197	189.2	435	+15	103.8

2. 単体損益計算書

(単位: 億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期		対前年		対予想比 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,621	8,635	8,685	+63	100.7	50
運輸収入	7,587	7,650	7,691	+103	101.4	41
その他収入	1,034	985	993	40	96.1	8
営業費用	7,728	7,645	7,661	67	99.1	16
人件費	2,379	2,330	2,333	45	98.1	3
物件費	3,395	3,415	3,427	+32	100.9	12
動力費	362	380	371	+9	102.5	8
修繕費	1,333	1,345	1,365	+31	102.4	20
業務費	1,699	1,690	1,691	8	99.5	1
線路使用料等	236	235	234	1	99.5	0
租税公課	309	320	317	+7	102.5	2
減価償却費	1,407	1,345	1,347	60	95.7	2
営業利益	892	990	1,023	+130	114.6	33
営業外損益	264	245	247	+16	93.8	2
営業外収益	71	65	64	7	-	0
営業外費用	335	310	311	23	-	1
経常利益	628	745	775	+146	123.4	30
特別損益	17	15	1	+19	-	13
特別利益	231	-	399	+168	-	-
特別損失	248	-	397	+149	-	-
当期純利益	221	410	419	+197	189.2	9

3.運輸収入の主な増減要因

(単位:億円)

		2013年3月期 通期実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	3,570	+55 (101.6%)	基礎トレンド(101.5%)	+52	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+10
				多客期・曜日配列	+11
				九州新幹線との直通運転効果	20
等					
在来線	2,914	+40 (101.4%)	基礎トレンド(101.1%)	+32	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+6
				多客期・曜日配列	+3
				等	
その他	1,206	+7 (100.7%)	基礎トレンド(100.2%)	+2	
			特殊要因	東日本大震災反動増	+5
				多客期・曜日配列	+3
				等	
在来線計		4,120	+48 (101.2%)		
運輸収入計		7,691	+103 (101.4%)		

荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	通期実績(4/1~3/31)			4Q実績(1/1~3/31)		
	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年
全社計	7,587	7,691	+103 101.4%	1,848	1,860	+12 100.7%
新幹線	3,515	3,570	+55 101.6%	840	846	+5 100.7%
定期	89	90	+1 101.3%	21	22	+0 101.1%
定期外	3,425	3,479	+54 101.6%	818	824	+5 100.7%
在来線	4,072	4,120	+48 101.2%	1,007	1,014	+6 100.7%
定期	1,404	1,402	▲2 99.8%	336	334	▲1 99.4%
定期外	2,667	2,718	+50 101.9%	670	679	+8 101.3%
近畿圏	2,873	2,914	+40 101.4%	708	717	+9 101.3%
定期	1,134	1,132	▲1 99.8%	273	271	▲1 99.5%
定期外	1,738	1,781	+42 102.4%	434	445	+10 102.5%
その他	1,198	1,206	+7 100.7%	299	296	▲2 99.1%
定期	270	269	▲0 99.7%	63	63	▲0 99.2%
定期外	928	937	+8 100.9%	235	233	▲2 99.1%

	通期実績(4/1~3/31)			4Q実績(1/1~3/31)		
	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年	2012年 3月期	2013年 3月期	対前年
全社計	54,117	54,769	+652 101.2%	12,943	12,986	+42 100.3%
新幹線	16,878	17,171	+293 101.7%	3,978	4,020	+41 101.0%
定期	722	736	+13 101.9%	176	177	+1 100.9%
定期外	16,155	16,434	+279 101.7%	3,802	3,842	+39 101.0%
在来線	37,239	37,598	+359 101.0%	8,965	8,965	+0 100.0%
定期	22,788	22,728	▲59 99.7%	5,340	5,277	▲63 98.8%
定期外	14,450	14,869	+419 102.9%	3,624	3,688	+63 101.8%
近畿圏	28,218	28,490	+271 101.0%	6,792	6,808	+15 100.2%
定期	18,440	18,398	▲41 99.8%	4,356	4,308	▲48 98.9%
定期外	9,778	10,091	+313 103.2%	2,436	2,499	+63 102.6%
その他	9,020	9,108	+87 101.0%	2,172	2,157	▲14 99.3%
定期	4,348	4,330	▲18 99.6%	983	969	▲14 98.5%
定期外	4,672	4,778	+106 102.3%	1,188	1,188	+0 100.0%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2013年3月期通期実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,333	45 (98.1%)	・数理差異償却終了 29 等
動力費	371	+9 (102.5%)	・燃料価格上昇 等
修繕費	1,365	+31 (102.4%)	・自己資金撤去工事費増 等
業務費	1,691	8 (99.5%)	・会社間清算 40 ・システム関連経費+10
線路使用料等	234	1 (99.5%)	
租税公課	317	+7 (102.5%)	・固定資産税増 等
減価償却費	1,347	60 (95.7%)	・2007年度税制改正に伴う残存簿価均等償却減 等
営業費用計	7,661	67 (99.1%)	

6.連結損益計算書

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期		対前年		対予想比 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	12,876	12,890	12,989	+112	100.9	+99
営業費用	11,778	11,680	11,694	84	99.3	+14
営業利益	1,097	1,210	1,294	+196	117.9	+84
営業外損益	273	250	248	+25	90.8	+1
営業外収益	79	70	68	11	-	1
営業外費用	352	320	316	36	-	3
経常利益	824	960	1,046	+222	126.9	+86
特別損益	22	30	49	27	-	19
特別利益	276	-	415	+139	-	-
特別損失	298	-	465	+167	-	-
当期純利益	294	560	601	+307	204.1	+41
包括利益	276	-	550	+273	198.9	-

7.セグメント情報

(単位:億円)

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期		対前年		対予想比 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	12,876	12,890	12,989	+112	100.9	+99
運輸業	8,390	8,404	8,449	+58	100.7	+45
流通業	2,335	2,358	2,346	+11	100.5	11
物販・飲食	1,334	1,337	1,344	+9	100.7	+7
百貨店	949	976	935	14	98.5	41
不動産業	935	895	909	26	97.1	+14
ショッピングセンター	543	543	550	+7	101.3	+7
不動産賃貸・販売 ^{*3}	376	337	342	33	91.1	+5
【分譲事業】	【107】	【65】	【69】			
その他	1,214	1,233	1,284	+69	105.7	+51
ホテル	321	329	330	+9	102.8	+1
旅行	372	388	388	+16	104.4	+0
営業利益 ^{*2}	1,097	1,210	1,294	+196	117.9	+84
運輸業	767	865	901	+133	117.4	+36
流通業	29	16	4	+24	-	+11
物販・飲食	31	-	33	+2	107.1	-
百貨店	63	-	40	+22	-	-
不動産業	259	262	280	+20	107.7	+18
ショッピングセンター	82	-	87	+5	106.6	-
不動産賃貸・販売	63	-	81	+17	127.8	-
その他	103	102	123	+19	119.0	+21
ホテル	16	-	23	+6	139.6	-
旅行	3	-	7	+4	207.2	-

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。
内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*3} 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

8. 単体業績予想

(単位: 億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	8,685	8,665	20	99.8
運輸収入	7,691	7,750	+58	100.8
その他収入	993	915	78	92.1
営業費用	7,661	7,725	+63	100.8
人件費	2,333	2,350	+16	100.7
物件費	3,427	3,515	+87	102.5
動力費	371	440	+68	118.5
修繕費	1,365	1,405	+39	102.9
業務費	1,691	1,670	21	98.8
線路使用料等	234	235	+0	100.0
租税公課	317	315	2	99.2
減価償却費	1,347	1,310	37	97.2
営業利益	1,023	940	83	91.9
営業外損益	247	230	+17	92.9
営業外収益	64	62	2	-
営業外費用	311	292	19	-
経常利益	775	710	65	91.5
特別損益	1	-	1	-
特別利益	399	-	-	-
特別損失	397	-	-	-
当期純利益	419	435	+15	103.8

9.運輸収入の見通し

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想	対前年		
			増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	
新幹線	3,570	3,627	+57	101.6	
在来線	近畿圏	2,914	2,923	+9	100.3
	その他	1,206	1,198	7	99.4
	在来線計	4,120	4,122	+1	100.0
運輸収入計	7,691	7,750	+58	100.8	

荷物収入は金額些少のため省略

10.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2014年3月期通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,350	+16 (100.7%)	・健康保険、厚生年金保険料率変更 等
動力費	440	+68 (118.5%)	・電力料金値上げ、燃料価格上昇 等
修繕費	1,405	+39 (102.9%)	・レール交換増 等
業務費	1,670	21 (98.8%)	・会社間清算減 ・システム関連経費増 ・電力料金値上げ 等
線路使用料等	235	+0 (100.0%)	
租税公課	315	2 (99.2%)	・固定資産税減 等
減価償却費	1,310	37 (97.2%)	・償却進捗
営業費用計	7,725	+63 (100.8%)	

11.連結業績予想

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	12,989	13,105	+115	100.9
営業費用	11,694	11,855	+160	101.4
営業利益	1,294	1,250	44	96.5
営業外損益	248	235	+13	94.7
営業外収益	68	67	1	-
営業外費用	316	302	14	-
経常利益	1,046	1,015	31	97.0
特別損益	49	30	+19	-
特別利益	415	-	-	-
特別損失	465	-	-	-
当期純利益	601	575	26	95.5
1株当たり当期純利益(円)	310.87	296.94	-	-

12.連結業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	12,989	13,105	+115	100.9
運輸業	8,449	8,440	9	99.9
流通業	2,346	2,364	+17	100.7
物販・飲食	1,344	1,316	28	97.9
百貨店	935	960	+24	102.7
不動産業	909	1,038	+128	114.2
ショッピングセンター	550	527	23	95.7
不動産賃貸・販売 ^{*2}	342	494	+151	144.0
【分譲事業】	【69】	【218】		
その他	1,284	1,263	21	98.4
ホテル	330	331	+0	100.2
旅行	388	385	3	99.0
営業利益	1,294	1,250	44	96.5
運輸業	901	827	74	91.8
流通業	4	31	+35	-
不動産業	280	277	3	98.9
その他	123	119	4	96.3

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

13.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位:億円)

	2012年3月期 期末 A	2013年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	26,429	26,137	292
負債	19,094	18,455	638
純資産	7,335	7,681	+346
長期債務残高	10,688	9,830	857
【長期債務平均金利(%)】	[2.86]	[2.84]	[0.02]
新幹線債務	2,845	2,442	402
【新幹線債務平均金利(%)】	[5.56]	[5.69]	[+0.13]
社債	4,549	4,499	49
【社債平均金利(%)】	[2.07]	[2.11]	[+0.04]
自己資本比率(%)	26.6	28.5	+1.9
1株当たり純資産(円)	3,632.41	3,850.82	+218.41

	2012年3月期 通期実績 A	2013年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,062	2,380	+317
投資活動によるキャッシュフロー	1,991	1,547	+444
フリーキャッシュフロー	70	832	+761
財務活動によるキャッシュフロー	368	852	484
現金及び現金同等物の増減	297	19	+277
現金及び現金同等物の期末残高	503	483	19

14.諸元表

(単位:人、億円)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想
連結ROA (%)	4.1	4.9	4.7
連結ROE (%)	4.2	8.3	7.5
連結EBITDA ^{*1}	2,791	2,903	2,810
連結減価償却費	1,693	1,608	1,560
連結設備投資(自己資金)	1,954	1,529	1,920
単体設備投資(自己資金)	1,508	1,248	1,650
安全関連投資	977	727	890
1株当たり配当金(円)	90	110	110

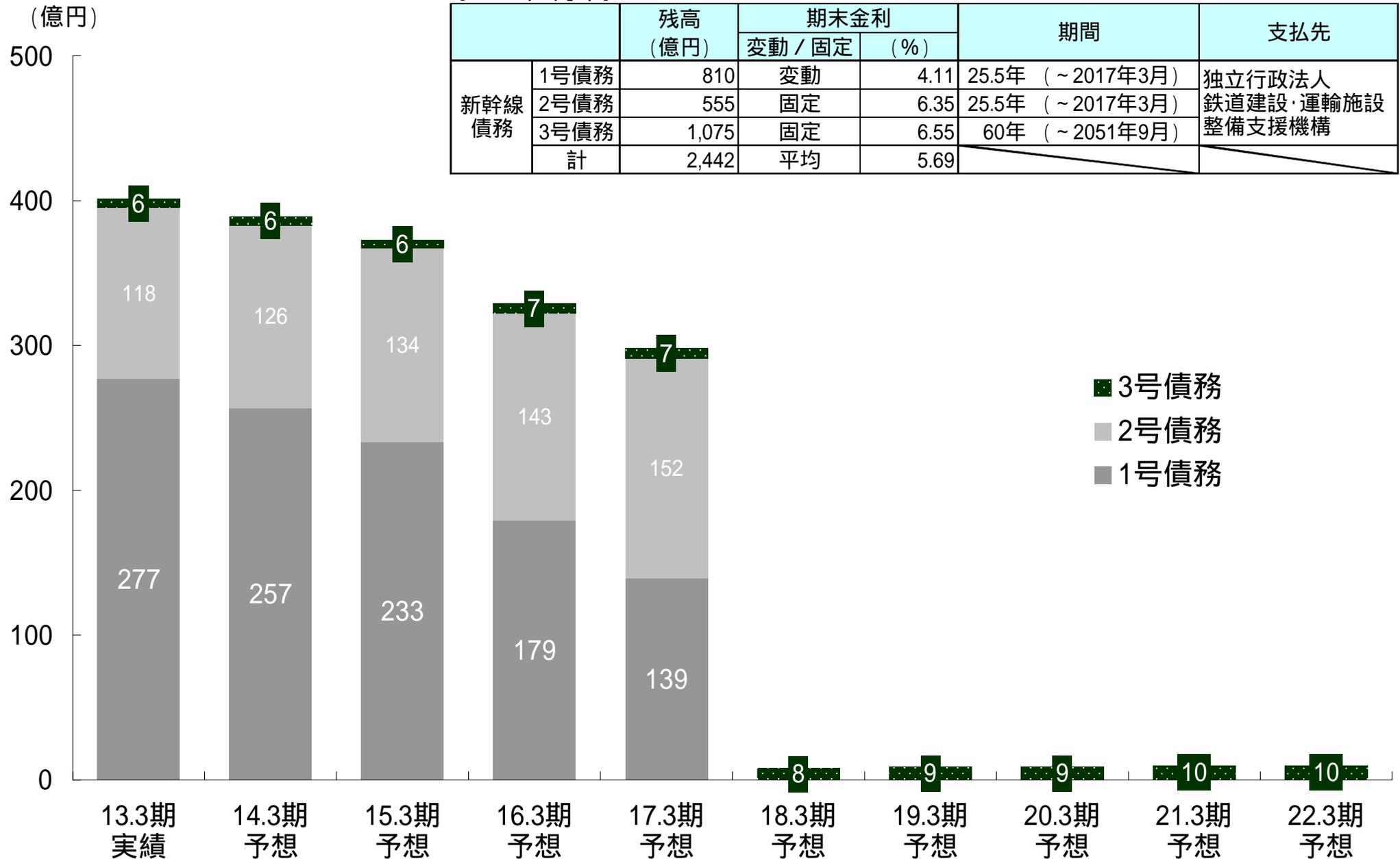
*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2012年3月期 通期実績		2013年3月期 通期実績		2014年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,402	26,778	45,326	26,889	-	-
金融収支	324	312	300	289	281	270
受取利息・配当金	4	14	3	13	4	13
支払利息	329	326	304	303	285	283

15.新幹線債務償還計画

【2013年3月末】

		残高 (億円)	期末金利		期間	支払先
			変動 / 固定	(%)		
新幹線 債務	1号債務	810	変動	4.11	25.5年 (~ 2017年3月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	555	固定	6.35	25.5年 (~ 2017年3月)	
	3号債務	1,075	固定	6.55	60年 (~ 2051年9月)	
	計	2,442	平均	5.69		



将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2013年4月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2013年4月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。